

観光施設等に対するニーズ調査方針（案）

1 調査目的

観光施設や美術館・博物館が、訪れる来場者に対して提供している観光情報や提供手段を調査することにより、「観光客等に対する情報提供の現状と課題」を明らかにするとともに、ICTを活用した観光支援に対するニーズを把握し、観光情報支援システムに求める機能を検討するための資料とする。

2 調査時期・対象等

○調査時期

平成19年10月

○調査対象

・北陸管内の観光地及び美術館・博物館

・抽出数：12カ所

内訳 観光地 各県2カ所、美術館等 各県2カ所

(候補例) 観光地 兼六園、金沢城、ひがし茶屋街、武家屋敷跡、那谷寺、安宅の関
五箇山合掌造り集落、瑞龍寺、となみチューリップ公園
東尋坊、芦原温泉、永平寺、一乗谷朝倉氏遺跡 など
美術館等 金沢21世紀美術館、石川県立美術館、石川県立伝統産業工芸館
富山県立美術館、立山カルデラ砂防博物館、福光美術館
福井市美術館、福井市自然史博物館、福井県立恐竜博物館 など

・調査対象の選考

構成員（3県自治体）から推薦をいただいた施設

○調査方法

・事務局及び外部請負者が訪問して調査を行う。

3 調査項目

(1) 来場者に提供している観光等の情報の現状

<調査項目>

提供内容：①由来や歴史、②マップ、③見どころ、④コース、
⑤イベント情報、⑥多国語、⑦子供向け、⑧障がい者向け
⑨その他（具体的に ）

提供手段：①日本語看板、②多国語看板、③日本語パンフレット、
④多国語パンフレット、⑤人によるガイド、
⑥日本語の音声装置によるガイド、⑦多国語の音声装置によるガイド、
⑧映像装置によるガイド、⑨その他（具体的に ）

※実施していることのすべてを記載してもらう。

(2) 今後、観光等の案内方法として充実したいもの

<調査項目>

提供内容：①由来や歴史、②マップ、③見どころ、④コース、
⑤イベント情報、⑥多国語、⑦子供向け、⑧障がい者向け
⑨その他（具体的に ）

提供手段：①日本語看板、②多国語看板、③日本語パンフレット、
④多国語パンフレット、⑤人によるガイド、
⑥日本語の音声装置によるガイド、⑦多国語の音声装置によるガイド、
⑧映像装置によるガイド、⑨その他（具体的に ）

※重視している項目の最大4つを順位付けして選択してもらう。

(3) 案内方法として活用したいツール

<調査項目>

①パンフレット、②掲示板、③人によるガイド、④館内放送、⑤情報通信機器

※重視している項目の最大3つを順位付けして選択してもらおう。

(4) 情報通信機器を活用して観光案内を行うシステムでは、以下のような機能を実現することができるが、魅力があると思うものは何か

①史跡・作品等の映像と音声による詳細な説明機能

②史跡・作品等の多国語による説明機能

③大人向け、子供向け、障がい者向けの説明機能

④来館者と事務所との双方向による問い合わせ機能

⑤外部の情報を得るためのインターネット接続機能

⑥施設内インフォメーションの提供機能

⑦来場者への一斉お知らせ機能

⑧来場者自身の施設内での位置情報機能

※魅力があると思う項目の最大4つを順位付けして選択してもらおう。

(5) その他

観光客等への情報提供を行う上で、日頃思っていること、感じていること及び実現したいことは。

- _____
- _____
- _____